

平成 19 年 7 月 27 日

各 位

会 社 名 富士電機ホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 伊藤 晴夫
(コード番号 6504 東証・大証・名証第 1 部・福証)
問合せ先 経営企画担当ゼネラルマネージャー
南 浩一
(TEL . 03 - 5435 - 7213)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 4 月 26 日の決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) の中間期連結業績予想を下記の通り修正致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 平成 20 年 3 月期中間期連結業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	420,000	5,500	5,000	2,000
今回修正予想 (B)	413,000	3,000	3,000	500
増 減 額 (B - A)	7,000	2,500	2,000	1,500
増 減 率 (%)	1.7%	45.5%	40.0%	75.0%
(参考) 前年同期実績 (平成 19 年 3 月期中間期)	400,964	6,772	7,644	3,659

2. 平成 20 年 3 月期中間期連結業績予想修正の理由

第 1 四半期の連結業績を踏まえ、平成 19 年 4 月 26 日に発表した今中間期の連結業績予想を上記の通り修正することと致しました。

売上高は、ディスク媒体市場の状況変化に即応して設備の垂直記録方式への対応の加速推進を主眼とした売上減により電子デバイス部門にて当初計画を大幅に下回る見込みです。また、電機システム部門では当初計画を上回る見込みですが、「機器・制御」、「リテイルシステム」の各部門においても当初計画を下回り、全体として当初計画を下回る見込みです。

損益面は、電機システム部門で当初計画を上回る見込みですが、ディスク媒体分野での売上減の影響を受ける電子デバイス部門、自販機の売上高が減少するリテイルシステム部門において当初計画を下回り、全体として当初計画を下回る見込みです。

3.平成20年3月期中間期連結部門別売上高・営業利益予想

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	当初計画	今回予想	増減	当初計画	今回予想	増減
電機システム	1,470	1,500	+30	85	75	+10
機器・制御	980	970	10	50	50	±0
電子デバイス	1,010	950	60	80	50	30
リテイルシステム	800	790	10	15	10	5
その他	290	300	+10	5	5	±0
消去又は全社	350	380	30	10	10	±0
合計	4,200	4,130	70	55	30	25

【注記事項】

上記の業績予想は、市場における当社グループ製品の需給の急激な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動、日本の株式相場の変動などにより、実際の業績と異なる場合があり得ることをご承知置き願います。

以上